
NEWSLETTER NO.29
20 APRIL 2002

- ・教室をめぐる動き (1)
- ・鶴川 9 号館地理実習室の利用について (2)
- ・地理情報処理室および図書資料室の利用について (2)
- ・製本保存ぶん卒業論文主題(2001年度)一覧 (3)
- ・教員の研究活動 (4)
- ・2002年 3 月卒業生の進路・就職先 (6)
- ・2002年度教員在室時間割 (7)

教室をめぐる動き

この 4 月に次の人事発令がありました。

< 非常勤講師の退任 >

吉田 桔美 先生 人文地理概説 (教倫 : 教職)

< 非常勤講師の新任 >

田淵 洋 先生 第四紀学 文献研究

< 昇 格 >

磯谷 達宏 先生 助教授に

< 教務主任に (再任) >

野口 泰生 先生

今年度の専攻主任・学年担任は以下の各先生です。

専攻主任 長谷川 均

1 年 磯谷 達宏

3 年 長島 弘道

2 年 加藤 幸治・岡島 建

4 年 内田 順文

2002 年度地理学教室行事予定

6 月 4・5 日 1 年地理実習

12 月 10 日 卒論提出締切

6 月 8 日 国土館地理学会

12 月 14 日 国土館地理学会

10 月 2・3 日 2 年地理実習

2 月 12 ~ 14 日 卒論公開口頭試験

10 月 22 ~ 25 日 3 年地理実習

鶴川 9 号館地理実習室の利用について

1. 鶴川 9 号館 3 階の地理実習室 (931 教室隣) は、学生の学習用に利用できます。実習室内に備え付けの図書は閲覧できますが、貸し出しはできません。無断で室外に持ち出すことは厳禁とします。また、地理学専攻学生専用の端末 PC 3 台とプリンタ、スキャナが設置されています。情報科学センターの講習を受けた学生に限り、インターネット、メール、その他のソフト (オフィス系) を使用することができます。

2. 隣室の講義の迷惑とならないよう静かに学習するようにして下さい。また、盗難のおそれがあるので、室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。

利用時間と利用方法

毎日 9 : 00 ~ 16 : 30

利用希望者は 14 号館文学部事務室で「施設等利用願」に必要な事項を記入の上、カギを受け取る。

必ず 16 : 30 までに施錠の上、文学部事務室にカギを返却する。

なお、下記の教員在室時間内 (教員の講義時間中を含む) には自由に入室することができます。

教員の在室時間

月曜日 11 : 30 ~ 16 : 00 (岡島・長谷川)

水曜日 14 : 00 ~ 16 : 30 (内田)

実習室内備え付けの図書リスト (2001 年度新規購入分)

- 「変動地形を探る 1?日本列島の海成段丘と活断層の調査から」(太田陽子著)
- 「変動地形を探る 2?環太平洋地域の海成段丘と活断層の調査から」(太田陽子著)
- 「活断層地形判読?空中写真による活断層の認定」(渡辺満久・鈴木康弘著)
- 「地形分類図の読み方・作り方」(大矢雅彦ほか著)
- 「風景の中の自然地理 [増補版]」(杉谷隆・平井幸弘・松本淳著)
- 「景観生態学」(横山秀司著)
- 「環境資源と情報システム」(武内和彦・恒川篤史編)
- 「丘陵地の自然環境」(松井 健・武内和彦・田村俊和編)
- 「日本のサンゴ礁地域 1 熱い自然?サンゴ礁の環境誌」(サンゴ礁地域研究グループ編)
- 「日本のサンゴ礁地域 2 熱い心の島?サンゴ礁の風土誌」(サンゴ礁地域研究グループ編)
- 「高山植物と「お花畑」の科学」(水野一晴著)
- 「水環境調査の基礎」(新井 正著)
- 「衛星画像で見る日本」(リモートセンシング技術センター編)
- 「山の自然学入門」(小泉武栄・清水長正編)
- 「地理増刊 世界の山やま ヨーロッパ・アメリカ・両極編」(岩田修二・小疇 尚・小野有五編)
- 「地理増刊 世界の山やま アジア・アフリカ・オセアニア編」(岩田修二・小疇 尚・小野有五編)
- 「植生環境学」(水野一晴編) 以上すべて 古今書院
- 「高山植物の自然史」(工藤 岳) 北海道大学図書刊行会
- 「自然保護法講義」(畠山武道) 北海道大学図書刊行会
- 「日本の地形 1 総説」 東京大学出版会
- 「日本の地形 関東」 東京大学出版会

地理情報処理室および図書資料室の利用について

1. 世田谷 10 号館の地理情報処理室および図書資料室は、原則として教員が在校中のみ開け、それ以外の時間は施錠されます。つまり、教員が大学に来ていないときには、中へ入れません。教員の在校時間については、このニューズレターの教員在室表に示したとおりで、世田谷に最低一人の教員が来ている時間帯は、これらの部屋に入れることとなります (ただし、2 階に研究室のない教員 (長島・内田・磯谷・加藤) しかいない場合は、つねに鍵が開いているとは限りませんから、その場合は教員に告げて鍵を開けてもらう必要があります)。これ以外の時間帯でも、教員が学内にいれば鍵を開けてもらえます。教員を捜して下さい。

2. 情報処理室および図書室は、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすく、盗難のおそれがあるので、室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。

研究室図書の見学および貸出方法

貸出は、「図書貸出簿」に書名・住所・氏名など必要事項を記入の後、必ず在室教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。

返却も、必ず在室教員のチェックを受け、「図書貸出簿」にサインをもらって下さい。

貸し出し期限は2週間です。厳守して下さい。

研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、情報処理室内でのみ閲覧・利用して下さい。

利用する人は(教員も含めて)、見たり借りたりした本を必ずもとの位置に戻しておくようにして下さい。本の位置を変えないようにすることは、利用しやすい図書室であるために守るべきマナーです。

以上のきまりを守らず、無断で図書などを持ち出した者、貸し出し期限を守れない者には、相応の懲罰を課します。

研究室購入主要備品リスト(2001年度)

双視実体鏡 携帯型レーザー距離計 小型メモリー水温塩分計 実体顕微鏡 アスマン通風乾湿計
放射温度計

パソコンソフト: ロボワード、文書OCR、MAPIO JAPAN/WORLD、GeoBasic基本コンポーネント、MacOS、
フォトショップ、TURBOCAD V7

*これらは教員の指導のもと、学生が使用することができます。

製本保存ぶん卒業論文主題(2001年度)一覧

- ・3月に行われた全国地理学科卒業論文発表大会では、滝原 悟さんと溝邊 貴彦さんが発表しました。
- ・1986年以降に審査された卒論のなかから、優秀なものや資料的価値の高い論文は製本され公開されています。年度別、分野別に製本された卒論は図書資料室で閲覧できます。01年度は、以下の論文が製本・保存されます。

番号	氏名	表 題	所属ゼミ
<地形・気候>			
2	佐藤 一郎	東京都及び周辺地域における酸性雨について	野 口
9	梅沢 香織	筑波おろしの特性について	野 口
14	中西 千秋	相模川下流域における洪水氾濫区域の土地利用とその経年変化について	長谷川
17	樋口佐恵子	気象データおよび生活感覚から捉えた「赤城おろし」について	野 口
23	梅田 奈美	乗鞍岳における構造土の分布と地形との関係について	長谷川
27	中村美智子	群馬県片品川の横断面に沿う気温調査	野 口
78	滝原 悟	石垣島東岸サンゴ礁海域における陸域からの栄養塩の流入 晴天時と雨天後の全窒素の変化を中心に	長谷川
80	計良 千都	東京湾沿岸地域における夏季の海陸風について	野 口
89	溝邊 貴彦	飯豊山地北西部玉川源流部の氷河の認定	長谷川
<植 生>			
20	阿部 潤	宅地造成地に成立した二次草原の帰化率について 神奈川県横須賀市湘南山手地区を例にして	磯 谷
21	木村真理子	東京西部におけるスギの衰退現象	磯 谷
47	福岡 裕介	白山における「お花畑」景観の分類と分布について	磯 谷
71	岸 明子	蔵王山刈田岳付近におけるアオモリトドマツの枯死・更新パターンと その立地環境について	磯 谷
90	石原 祐介	東京都江東区におけるブタクサ・オオブタクサの分布と生態	磯 谷
99	荒井 義幸	三浦半島森戸川流域におけるネコノメソウ属2種の分布とその生育環境について	磯 谷
119	奥山友希乃	静岡県清水市三保半島海岸最前列におけるクロマツの樹形と生育状況について	磯 谷
<人 文>			
4	小島 穂高	首都圏における日本なし産地の地域的特性 品種を中心に	長 島
12	山田 尚人	地方都市における路面電車の可能性と路線環境	岡 島

	富山地方鉄道市内線と加越能鉄道万葉線を事例として		
36	中臣 雅史	住宅物件と居住者の特性から見た地域的特徴	内 田
		新宿、成城、新百合ヶ丘の三地域を事例として	
66	山田 宏幸	明治期から昭和初期における神奈川県三浦半島の鉄道敷設過程	岡 島
77	高橋 潤	静岡県における茶業経営	長 島
		静岡県榛原郡川根町・小笠郡菊川町を事例に	
91	木村 郁子	山形県酒田市における生活環境評価 生活関連施設を指標として	長谷川
96	古村 勇一	子どもの属性と遊び環境の違いによる手描き地図の比較	内 田
104	辻 崇史	整備新幹線が地域に与える影響 長野新幹線を事例に	内 田

教員の研究活動

長島 弘道 教授

論文：

日本における堆肥の供給と需要の動向、国土館大学文学部人文学会紀要、第34号、pp. 85-97.

口頭発表：

Supply System and Demand for Compost in Japan, IGU 持続可能な農村システム委員会年次会議, 7月4日-10日、フランス・ランブイエ国立牧羊場.

野口 泰生 教授

論文：

東北地方太平洋岸の海面水温と気温の年々変動、天気、48,747-757, 2001.

長谷川 均 教授

論文（執筆活動）：

- ・長谷川均：「新石垣空港に関する問題点」、環境と公害、2001、第31巻、1号、63-64ページ、岩波書店。
- ・長谷川均：「陸域の開発とサンゴ礁浅海域の変化 琉球列島石垣島白保サンゴ礁を例に」、科研報告書『完新世後期における海岸域の地形環境動態に関する研究』代表者 海津正倫に所収。2002年3月

口頭発表：

- ・「土地改良事業」に起因するサンゴ礁地域の環境悪化、赤土問題に関するワークショップ、WWFJapanサンゴ礁保護研究センター、2001、09、03
- ・「土地改良事業」に起因するサンゴ礁浅海域の環境悪化 -石垣島轟川流域と白保サンゴ礁を例に- 日本サンゴ礁学会第4回大会、琉球大学、2001/11/04
- ・私立大学大学院地理系の問題 いま何が問題なのか、シンポジウム首都圏私立大学・大学院地理学専攻の現状と将来。2001/12/1、法政大学。
- ・国土館大学における地理学専攻学生に対するGIS教育、2002年度日本地理学会春季学術大会シンポジウム 大学の地理学におけるGIS教育の進め方、2002、03/31 日本大学文理学部（私の記念すべき50回目の学会発表でした）

学会活動：

- ・日本サンゴ礁学会評議員（2001年～）
- ・国際サンゴ礁シンポジウム招致委員（2001年～）

その他：

- < 研究助成など >
- ・文部省科学研究費の研究分担（代表者海津正倫氏）
- ・2001年度WWFジャパン自然保護助成事業の研究代表者、陸域からの排水がサンゴ礁生態系に与える影響
- ・平成14年度私立大学研究設備整備：野外観測用可視・近赤外分光装置、の助成（11,236千円）
- ・2002年度WWFジャパン自然保護助成事業の研究代表者、陸域からの排水がサンゴ礁生態系に与える影響
- < 取材協力など >

- ・「モルディブは水没する?」、海と島の旅、2001/5、180-181ページ
- ・琉球新報、2001/09/08、赤土問題ワークショップ、
- ・八重山毎日新聞、2001/09/04、赤土問題ワークショップ
- ・朝日新聞福岡版 2001/09/22 新石垣空港建設問題でコメント

岡島 建 助教授

論文：

近代の商工地図とその利用 - 神奈川県を例を中心に - . 国土館大学文学部人文学会紀要34号 , pp.99-115 , 2001 .
世田谷の歴史地理に関する一考察 . 国土館大学地理学報告10号 , pp.1-14 , 2002 .

学会活動：

交通史研究会常任委員 (編集担当)
歴史地理学会選挙管理委員

その他：

歴史シンポジウム 江戸から明治へ、ものはどう運ばれたか。(増田廣實・小風秀雅と共著)
品川歴史館紀要16号, pp.1-32, 2001.

磯谷 達宏 助教授

論文：

Kamijo, T., Isogai, T., Hoshino, Y. and Hakamada, H. Altitudinal zonation and structure of warm-temperate forests on Mikura-jima Island, Izu Islands, Japan. Vegetation Science 18, 13-22. 2001.

口頭発表：

磯谷達宏・石本 研 . 伊豆半島西部の稜線付近におけるササ草原の分布域の変遷と現在の種組成 .
第49回日本生態学会大会 . 2002年3月 .

吉田圭一郎・丸岡英生・大塚 弘・Nay Win 00・岩下広和・磯谷達宏・岡 秀一 .

GISを用いた暖温帯冷温帯Ecotoneにおける植生モザイク構造の解析 . 第49回日本生態学会大会 . 2002年3月 .

丸岡英生・吉田圭一郎・大塚 弘・Nay Win 00・岩下広和・磯谷達宏・岡 秀一 .

暖温帯冷温帯Ecotoneにおける植生構造および種多様性と地形の解析 . 第49回日本生態学会大会 . 2002年3月 .

学会活動：

日本地理学会会計専門委員

その他：

磯谷達宏 . 常緑広葉二次林はどのような場所に多いのか? 房総半島・伊豆半島の事例から .

「植生環境学—植物の生育環境の謎を解く—」(水野一晴 編著, 古今書院), 85-100 . 2001年12月4日発行 .

加藤 幸治 講師

論文：

サービス経済化と地方都市圏 . 『地理科学』, 第56巻3号, pp.159-168, 2001 .

口頭発表：

仙台市のソフトウェア産業とソフト系子会社の展開 . 経済地理学会北東支部例会 . 2001年8月30日 .

地方都市のサービス経済化の特徴と地域連携の必要性? 広島県三次市の事例を中心に? .

第5回釧根地域連携シンポジウム . 2001年12月7日 . (パネリストとしての発表)

学会活動：

日本地理学会渉外広報専門委員 (-2002年3月) .

経済地理学会編集委員 (2001年6月-) .

経済地理学会第49回大会実行委員会ソフト部門委員 (2001年6月-) .

経済地理学の成果と課題第 集編集委員 (2001年6月-) .

名鉄観光サービス(株) 日本ユニシス・エクセリョーションズ (株)エンドレス 愛宕倉庫(株) 富士シティオ(株)
NOVAグループ (株)コムテックス (株)フレックスインターナショナル アジアパシフィックシステム総研
セントラルコンピューターシステム (株)喜久家 (株)モトヤ 日京クリエイト (株)ほていや 積水ハウス(株)
(株)ジョナサン (株)エスピック JA北群渋川 ビックカメラ (株)マルマンコーポレーション
ヤマハオートセンター(株) 国土館大学大学院 明治大学大学院 東京環境工科専門学校
ただし、2月初めの時点で教室に報告のあった分のみ。

教員の研究室と電話番号・メールアドレス

[世田谷] 長島：10号館4F1025研究室 03-5481-5278 E-mail:nagasima@kokushikan.ac.jp
野口：10号館2F1004研究室 03-5481-3246 E-mail:noguchi@kokushikan.ac.jp
長谷川：10号館2F1003研究室 03-5481-5247 E-mail:hasegawa@kokushikan.ac.jp
内田：10号館4F1025研究室 03-5481-5291 E-mail:uchida@kokushikan.ac.jp
岡島：10号館2F1002研究室 03-5481-3245 E-mail:okajima@kokushikan.ac.jp
磯谷・加藤：10号館2F地理情報処理室または教員コミュニティルーム
[鶴川] 磯谷：12号館3F302研究室 042-736-8125 E-mail:isogai@kokushikan.ac.jp
加藤：12号館3F307研究室 042-736-8130 E-mail:k2kato@kokushikan.ac.jp
長島・長谷川・内田・岡島：9号館3F地理準備室

次ページ記載の時間以外の面会、相談などはAppointment によります。相談、質問などは教員の出勤中に済ませて下さい。教員の自宅、特に非常勤の先生宅への電話は極力ひかえて下さい。

長谷川より：原則として、月・土以外は世田谷研究室にありますが、相談など時間のかかる面接等に関しては、事前にアポをとってからにして下さい。

2002年度 教員在室時間割

【凡例】 Na:長島 No:野口 Ha:長谷川 Uc:内田 Ok:岡島 Is:磯谷 Ka:加藤
 講義中 在室：オフィスアワー 在室の場合が多い

* 1 : 前期のみ講義。後期は「在室の場合が多い」。

* 2 : 第3または第2金曜日は教室会議(12:00-)・教授会(13:00-)があり全員が世田谷に出校しています。

		校舎	9:00-10:30	10:40-12:10	12:50-14:20	14:30-16:00	16:10-17:40	
月	世田谷		No		Na			19:00
	鶴川	Is	Na	Ok	Ha			
			Ka					
火	世田谷		Na	Ha				
	鶴川	Is		Ok				
			Ka					
水	世田谷		No					19:00
	鶴川	Is	Ha					
			Ok					
			Ka		Uc	*1	*1	
木	世田谷		No					19:00
	鶴川	Is	Ha					18:20
	多摩	Is	Uc					
			Ok					
			Ka	*1				
金	世田谷 *2	Ok	No					19:00
	鶴川	Is	Ha					
			Ka					
土	世田谷	Uc						